

認知症アップデート研修 活動報告

○認知症アップデート研修会【報告会】2018.1.28

Good Practice Sheetを用いて7名が実践報告を行った。
その後、7グループに分かれ、実践事例に対する検討会を行った。他職種4名を含めた53名が参加。

○認知症アップデート研修会【基礎編】2018.7.22

4テーマ（3.5時間）で構成。昨年度の141名参加の影響も受けてか、他職種4名を含む26名の参加にとどまった。

※2018年3月末における認知症アップデート研修の修了者は47名

○作業療法フェスタ2018における公開講座の開催

「認知症になっても住みよいまちってどんなまち？」
をテーマとした公開講座を家族会と協業し企画。
しかし、台風最接近と重なり、延期。
現在、次回開催日を調整中。

報告会



基礎編



公開講座



講師など派遣事業

○認知症初期集中支援チームへのアドバイザー派遣

1回/月に開催されるチーム員会議にアドバイザーとして出席。
必要に応じて、チーム員と同行訪問も行った。

○県主催の事業への講師派遣

介護職員現任者研修：通所介護事業所，訪問介護事業所の職員を対象とした研修会に講師を派遣。
認知症に対する理解と自立に向けや支援について講義した。

サービス計画担当者研修：地域ケア会議の形式をとった検討会に助言者を派遣。

認知症対応力向上のためのケア会議：県モデル事業に助言を派遣。

現認者研修



サ担研修



認知症ケア会議



今後の展開

- ・ 認知症の方に対する具体的なプランの立案ならびに実践スキルの向上を目指した「認知症アップデート研修【応用編】」を12月に開催予定。
- ・ 本年度もGPシートを用いた報告会を年度内に開催予定。実践事例の集積に努める。
- ・ 講師，助言者など行政等の要望に応じることが出来る人材を育成していく。